1. デジタル署名と証明書に関する課題

<解答>

・1.1 Web page はamazonに所属している。

（ブラウザの補完機能でamahon.comからamazon.comに転送された。）

当該ページのデジタル証明書を確認すると、以下のような記載になっていることが確認できる。

テキスト

中程度の精度で自動的に生成された説明

この証明書の、「発行先」欄にある「一般名」がこのWeb pageの所有者を示すのが本解答の根拠である。ただし、組織名には本来Web pageを所有、運営する企業名が入るはずだがamazon.comの証明書には含まれていないため非表示のようだ。

・1.2　amahon.comにクレジットカード情報は送信しない方が良い。

理由としては、amahon.comのCA認証証明書（以下、証明書）を確認できないのが理由である。

証明書のないWeb pageでは、HTTPS通信を介して、ユーザーとサーバー間の安全な接続を確立することができない、その上、HTTPSを介さないという事は、ユーザーの情報はすべて暗号化されず平文で送信される。ゆえに、入力したクレジットカードなどの決済情報が、ユーザーとサーバー間の通信経路上で盗聴される可能性がある。

２．

＜解答＞

以下はPython記法による解答。

def L(x: str) -> bool:

    if "ab" == x:

        return True

    else:

        return False

平文での解答。